

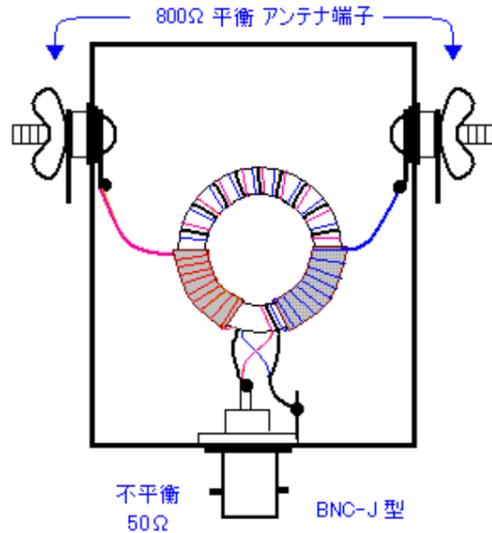
アンテナバラ 組立部品セット KIT-DB-800BCL-BNC

50Ω 不平衡 : 800Ω 平衡 100KHz~30MHz 受信用
許容入力電力 : 連続 10W / CW 20W / SSB 30W
サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

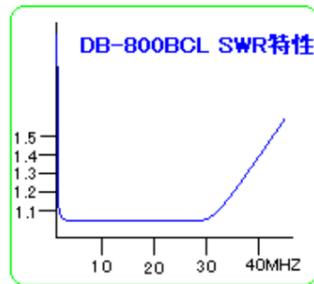
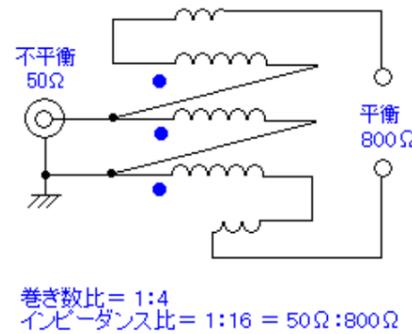
50Ω : 800Ω バランの作り方

- 3本の被膜線を、コアの巻き方のように、18回巻きします、さらに、折り返し9回上巻きします
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
- プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

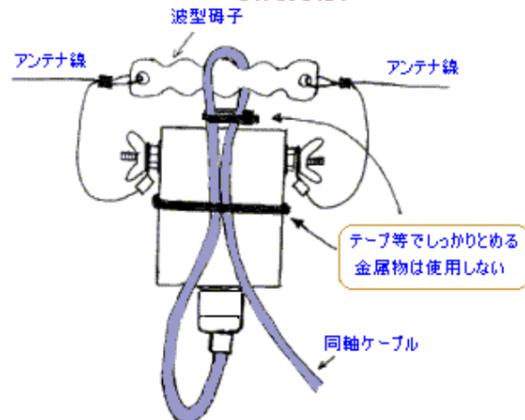


回路図

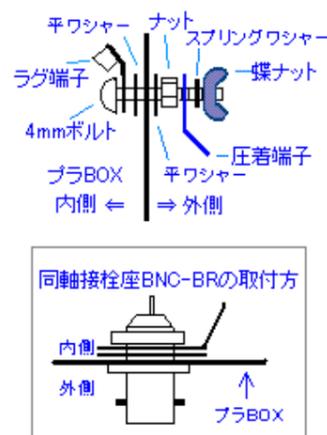


部品表	
フェライトコア 3977001001	-----1
0.65mm被膜線65cm	-----1
0.32mm被膜線1m	-----2
BNC型接栓座 BNC-BR	-----1
自己融着テープ	-----10 cm
ステンボルトナットワッシャー	
蝶ナット、ラグ端子	-----2組
プラボックス	-----1
波型碍子	-----1
結束バンド	-----2

バラ取付方法



アンテナ端子取付方法



コアの巻き方

1. 0.65mmの被膜線を半分ほどで折り返します

0.65mm 被膜線
0.32mm 被膜線
0.32mm 被膜線

2. 0.65mm被膜線をコアに約半分の長さで通します

3. 半分の0.65mm被膜線を9回巻きます (コア内通過数)

4. もう半分の0.65mm被膜線を図のように同様に9回巻きます (コア内通過数) 合計18回巻き

5. 0.32mm被膜線を図のように、約5cm残して、0.65mm被膜線の横に並列に合計18回平行巻きします (コア内通過数)

6. さらにもう1本の0.32mm被膜線は図のように反対端から、約5cm残して、0.65mm被膜線の横に並列に同様に、合計18回平行巻きします (コア内通過数)

巻き線配列
3線平行配列
0.32 0.32
0.65

7. 自己融着テープを図のように半分にカットします

8. 自己融着テープを長さを1.2倍に伸ばしながらコアの1/4ほどまで巻線の上に図のように少しずつ重ね巻きします

9. 0.32mm被膜線の片側を巻いたテープに折り返し9回上巻きします (コア内通過数)

10. もう1本の0.32mm被膜線も折り返し9回上巻きします (コア内通過数)

端末配線
0.65mm被膜線の巻き始めと、巻き終わり側の0.32mm被膜線を、配線結線し、ねじり合わせます

また、0.65mm被膜線の巻き終わりと巻き始め側の0.32mm被膜線も、配線結線し、ねじり合わせます

0.65 0.32 0.65

コアの完成

平衡 800Ω

不平衡 50Ω

コア完成例

SWR測定方法例

アンテナ SWR計 アナライザー など

抵抗 800Ω

バラン

抵抗は短く接続します
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)